

講義名	起業家論			授業形態	
担当教員	岡田 恵実	開講期・曜日・時限	前期 金曜日 3 時限		
		単位数	2	履修開始年次	2 年生

主題と概要

みなさんは、「起業家」と聞くとどんな人をイメージしますか？
この科目では、様々な分野で活動する起業家や事業承継者の方々（8名を予定）をゲストにお招きし、起業のきっかけや経緯、ビジネスの変遷、現在の事業概要、そして将来のビジョンなどを講義いただきます。その「生の声」を通じて、ビジネスをゼロから創出、あるいは変革する際の思考法と行動原理を学んでいきます。
新しいビジネスがどのように生まれるのかを体系的に学ぶとともに、起業という営みを身近に捉えて具体的なイメージを持つこと、そして自分なりの起業家像や起業家に必要な資質は何かを多角的に理解することを目的とします。
さらに、既存のマーケティングや経営戦略の理論が実社会でどのように実行されているのか、あるいは理論だけでは突破できない不確実な局面において、起業家が何を頼りに意思決定を行っているのかを構造的に理解することを目指します。

到達目標

ディプロマ・ポリシーに基づき、以下を到達目標とする。
1. 起業家の意思決定の論理を理解し、新しいビジネスが生まれるプロセスを説明できる。
2. 既存の経営理論やマーケティング理論がビジネスの現場でどのように実践（あるいは修正）されているかを具体例を挙げて考察できる。
3. ゴスト講義の事例を比較・分析することで、業界の動向や経営上の課題を探索し、自分なりの解決策を提案できる。
4. 多様な起業家像に触れることで、企業マネジメントに関する幅広い知識を身に付け、自身の将来のキャリアや社会貢献に対する具体的なイメージを持つことができる。

提出課題

各回の内容に応じ、リアクションペーパーあるいはレスポンスペーパーを提出してもらいます。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

外部講師が担当する回に関しては、外部講師から回答がある場合は紹介します。
担当教員が担当する回に関しては、授業の中で必要に応じてフィードバックします。

評価の基準

1. 自らの提出ペーパー 60%
2. まとめ発表資料 20%
3. 第15回（最終回）のまとめペーパー 10%
4. 授業姿勢（参加姿勢、講師への質問等） 10%
・出席回数が14回以上、要件を満たすリアクションペーパー/レスポンスペーパーの提出が9回以上であることを単位取得最低要件とします。
・まとめ発表資料、第15回のまとめペーパーの提出を単位取得最低要件とします。
・遅刻・早退、私語、居眠り、内職等、授業態度が悪い学生は減点します。
・評価項目の内容や割合を変更することがあります。その場合は授業及び講義連絡でお知らせします。

履修にあたっての注意・助言他

・本授業は、起業や事業承継に関心のある学生はもろろのこと、ビジネスのリアルや新しいビジネスがどのように生まれるのかを知りたい学生にぜひ受講してもらいたいと思っています。
・経営者の方に外部講師として来ていただきます。外部講師の方は、多様な業務の合同を縫ってお越しいただきますので、感謝の気持ちを持ち、失礼のない態度で受講してください。
・遅刻、授業途中での退出、私語、居眠り、スマホ等の内職は厳禁です。
・積極的な授業参加をしてください。自分なりのメモをとるようにしてください。
・授業の中で受講生同士のディスカッションを行います。
・各種ペーパー、資料作成に際して、他者・ネット資料、生成AI、翻訳AI等からの単純コピペは厳禁です。コピペが判明した場合は、当該点数が0点となります。自分の力で課題に取り組んでください。

教科書

.使用しない。

参考図書

.エフェクチュエーション 優れた起業家が実践する「5つの原則」	吉田 潤梨, 中村 龍太	ダイヤモンド社	1980	4478110744

その他

配布資料がある場合があります。

授業計画

第1回 ガイダンスとイントロダクション
<予習> シラバスを確認し、「起業家」という言葉から連想するものを考える（120分）
<復習> 講義資料およびメモを整理・復習し、授業内容の理解を深める（120分）
第2回 第4回、第6回、第8回、第10回、第12回、第14回 外部講師（起業家）による講義、トークセッション
現在、以下のようなさまざまな起業家の講義を予定しています。
・スゴッと教育を支援するアプリ開発ベンチャー起業家
・口コトを通じた連携コミュニケーションサービスを提供する起業家
・神戸で有名なベテランを事業承継した経営者 等
<予習> 外部講師（起業家・事業承継者）について事前に調べる（各回120分）
<復習> メモを整理・復習し、授業内容の理解を深める（各回120分）
第4回、第7回、第10回、第13回 外部講師の振り返りとグループディスカッション
<予習> 前回および前々回の講義資料やメモを見直し、印象に残った内容を整理する（120分）
<復習> ディスカッションやワーク内容を振り返り、自分の考えをまとめる（120分）
第14回 グループワーク&最終まとめ作成
<予習> これまでの講義資料・メモを確認し、印象に残った起業家とその理由を整理する（120分）
<復習> 作成した最終まとめを見直し、改めて起業家の意思決定と行動原理を自分なりにまとめる（120分）
第15回 全体まとめ
<予習> これまでの授業内容を振り返り、自分の学びを整理する（120分）
<復習> 講義資料・メモを整理・復習し、起業家の意思決定の論理と新しいビジネスが生まれるプロセスを整理する（120分）
順番や内容が一部変更となる場合があります。その際は授業や講義連絡でお知らせします

授業形態（アクティブ・ラーニング）

ア：PBL（課題解決型学習）	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
ウ：ディスカッション、ディベート	エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション	カ：実習、フィールドワーク
キ：その他（A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

・多様な起業家・事業承継者の「生の声」とそれに対する構造的な分析を通じて、理論と実務をつなげ、ビジネス現場で要求される実践的な意思決定能力を養う。
・新事業を創出する起業家の論理を学ぶとともに、市場や社会（生活者）のニーズをどう捉えるかという機動的な視点に立ち、マネジメント上の課題を多角的に考察する力をつける。
・起業や新事業を創出するための基礎となる経営理論やマーケティング理論をより深く、実践に即した形で理解する。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

授業中Eメール等を活用して、問いを出したり、意見集約等を行います。
グループディスカッションやグループワーク、発表を行います。

実務経験の有無及び活用

実務経験あり
大学卒業後、国の中小企業支援機関を中心に20年超勤務してきました。
その中で、起業に関心を持つ人たちの増やす取り組みや起業支援、中小企業のコンサルティング業務などに関わってきました。
経済産業大臣認定・中小企業診断士。

備考